



経営者 **interview**

## イベントの企画・運営も仕掛ける 「元気な」印刷会社

有限会社 トータルワーク

代表取締役 **大道 綾彦**

平成4年設立と地元印刷業界では後発となる(有)トータルワーク。印刷業者ながら、トレイルランニングイベントや大手ショッピングセンターでのカラオケイベントを手掛ける等、独自の取り組みが光る。斜陽産業ともいわれる印刷業界にあって増収を続けている同社の大道社長に、これまでの経緯と、業界や経営に対する思いを伺った。

創業からしばらくの間は、それまでの経験と人脈から大口のクライアントを得て、自分でも驚くくらい面白いように受注が膨らみ、まさに順風満帆であったが、大きな落とし穴が待っていた。顧客の要望に応えるべく大型の印刷機械を導入した矢先の平成18年、大口の取引先が倒産し、売上の大半を失うと同時に設備投資に伴う多額の負債が残った。それからはとにかくしんどかった。資金繰りに詰まるかもしれない、という恐怖と戦いながら、死にもの狂いで営業開拓を進め、地道に顧客を増やすことで少しずつ売上を戻していった。今考えても実に苦しい思い出だが、その中で自分も成長できたし、現在、中核となっている社員が成長してくれたことは財産となっている。

少し落ち着きを取り戻した時期に、新たな挑戦として取り組んだのがトレイルランニングイベント。イベント運営自体が我々にできるものか、まさに手探りでのスタートだった。広島で実績のないものであったし、段取りから申し込みの受け付け方法、当日の運営まで何もかも初めてだらけでとても苦労したし、コストも合わずすぐに撤退することになった。次に大

型ショッピングセンター内でのカラオケイベントという、新たな企画に係る事になった。イベント自体は好評で、大手との取引窓口が開き、実績としては申し分なかったが、本業に集中する為、この事業から撤退することを決断した。今は地道に築いてきた印刷関係のお客様へコツコツ営業に取り組むことで伸ばしていく方針で進めている。真面目にやっていたら仕事は増える、これがこれまでの経験で感じた実感したことといえる。

出版印刷はインターネットに取って代わられているが、商業印刷の分野はまだ市場がある。数年後を見据えて、次世代に事業を継承する準備を進めなければならないと感じている。今、印刷工業組合の理事として、同業界の経営者の方と交流を持たせていただいている。印刷業界は60年を超える業歴を持つ老舗が多く、業歴10年と少々の私が理事などおこがましいと思ったが、とてもいい経験をさせて頂いている。横のつながりを持つこともできたし、業界のことも少しずつ見えてきた。また同業者の方と交流する中で多くの助言を頂いており、これらを次世代へ継承していく礎を築くための糧としていきたい。



菊全版4色機(KOMORIリスロンS40)

社 名 **有限会社 トータルワーク**  
所 在 地 広島県広島市西区中広町 2-24-5  
電 話 082-234-2133  
事 業 内 容 印刷全般、広告代理・イベント業

創 業 平成1(1989)年1月  
設 立 平成4(1992)年4月  
資 本 金 300万円  
代 表 者 大道 綾彦  
従 業 員 数 14名  
売 上 高 4億9,700万円